

令和4年第2回定例会（9月議会） 所管事項審査関係資料

令和4年9月15日
あきた未来創造部

【所管事項】

<あきた未来戦略課>

あきた未来総合戦略の進捗状況及び関連事業について . . . 1

<高等教育支援室>

公立大学法人秋田県立大学の令和3年度決算による
積立金等の使途計画について . . . 2 1

公立大学法人国際教養大学の令和3年度決算による
積立金等の使途計画について . . . 2 5

あきた未来総合戦略の進捗状況及び関連事業について

あきた未来戦略課

1 あきた未来総合戦略における基本目標ごとの進捗状況について

令和2年3月に策定した第2期あきた未来総合戦略における令和3年度の基本目標ごとの数値目標の達成状況、施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況は次のとおり。

	数値目標	現状値(H30)	目標値(R3)	実績(R3)	達成率(%)	推進状況
	施策ごとのKPIの達成状況		達成	未達成	なし・未判明	
基本目標1 産業振興による仕事づくり	製造品付加価値額 (従業員4人以上の事業所) 令和6年に 6,724億円	5,772億円 (H29)	6,298	未判明 (R5.8判明)	—	<ul style="list-style-type: none"> 製造品付加価値額の令和3年実績値は未公表だが、最新の統計である令和元年確報値では4,942億円(前年比△1.8%)であり、これは3年目標値の78.4%の水準となっている。元年は米中貿易摩擦等の影響を受けたものと思われる。一方、2年～3年は新型コロナウイルス感染症の拡大により多くの産業に様々な影響が生じていると考えられるが、一部産業で好調な動きがあり、令和3年度は全体として堅調な動きであった。 農業産出額については、同じく令和3年実績値が未公表だが、2年実績が1,898億円と令和3年の目標値を上回る実績となっている。コロナ禍に起因する米価の低下により、米の産出額は減少したものの、これまでの「複合型生産構造への転換」に向けた各種施策の実施により、野菜や畜産など米以外の産出額が過去20年間で最高となっている。 新型コロナウイルス感染症の拡大により、イベントや催事が中止となるなど全国的に観光客が減少している中、県内在住者を対象とした県内観光旅行商品や宿泊代金の割引事業の実施により、延べ宿泊者数は目標には届かなかったものの、前年度並みの実績を確保するなどの一定の成果はあった。 一方で、コロナ禍で変化した新たな旅行ニーズに対応するため、秋田ならではの地域資源等を活用したコンテンツづくりや販路確立、情報発信を支援したほか、誘客・周遊イベントの開催など、次年度以降の誘客につながる各地域の取組に対して支援を行った。
	農業産出額 令和6年度に 1,971億円	1,843億円	1,888	未判明 (R4.12判明)	—	
	延べ宿泊者数 令和6年度に 4,100千人泊	3,505千人泊	3,800	2,626	69.1	
	施策ごとのKPIの達成状況			5	17	
基本目標2 新しい人の流れづくり	本県への移住者数 令和6年度に 700人	459人	550	669	121.6	<ul style="list-style-type: none"> 本県への移住者数は、首都圏相談窓口におけるきめ細かな相談・支援対応や、市町村の取組の進展等により年々増加しており、令和3年度はコロナ禍における地方回帰志向の高まりと相まって、対前年度比93人増(+16.1%)となり、目標を上回った。 Aターン就職者数については、新型コロナウイルス感染症の拡大により予定した6回のAターンフェアのうち2回が中止となり、また、就職面接に有効な対面型での開催も1回に留まったこと等により、目標には届かなかった。 若者の県内定着の促進について、「高校生の県内就職率」の実績は未判明であるが、秋田県高等学校卒業者の進路状況調査によれば、75.4%となり、目標を上回る見込みとなっているほか、「県内大学生等の県内就職率」は前年度より上昇し、48.5%であったものの、目標(R3目標:51.0)には届かなかった。
	Aターン就職者数 令和6年度に 1,300人	1,134人	1,300	1,183	91.0	
	施策ごとのKPIの達成状況			5	4	
基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる社会づくり	婚姻率 令和6年に 3.1	3.1	3.1	2.8	90.3	<ul style="list-style-type: none"> 婚姻率の概数値は、前年度実績値(2.8)と同率であったが、目標値には達しなかった。(22年連続で全国最下位となる見込みである。) あきた結婚支援センターへの成婚報告者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少した令和2年度からは持ち直したものの、(R1:162人 → R2:103人 → R3:129人)、目標値には達成しなかった。 合計特殊出生率の概数値は、前年の実績値(1.24)を下回る(1.22)となり、目標値には達しなかった。 子育て世代包括支援センターは令和2年度中に全市町村に設置され、目標を達成した。 あきた子育てふれあいカード協賛店舗の新規登録数は、令和2年度からの累計で124となり、目標を達成した。 「あきた女性活躍・両立支援センター」の女性活躍・両立支援推進員3名による企業訪問(1,263社)を通じ、一般事業主行動計画の策定について普及啓発を強化した結果、女性活躍に対する企業の理解と関心は深まり、令和3年度の計画策定企業数の実績値は目標値を上回った。
	合計特殊出生率 令和6年に 1.54	1.33	1.41	1.22	86.5	
	女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業数 (従業員数300人以下の企業) 令和6年度に 540社	174社	360	440	122.2	
	施策ごとのKPIの達成状況			7	9	
基本目標4 新たな時代に対応した地域づくり・人づくり	日常生活に必要なサービス機能が不十分と感じている人の割合 令和6年度に 40%	48.7%	44.4	45.4	97.8	<ul style="list-style-type: none"> 「日常生活に必要なサービス機能が不十分と感じている人の割合」は、平成30年度の48.7%から3.3ポイント減少したが、前年比では1.9ポイント増加している。 「社会活動・地域活動に参加した人の割合」は、平成30年度の62.1%から7.7ポイント減少し、目標には届かなかった。これについては新型コロナウイルス感染症の影響により、対外的な活動自体が減ってしまったこと、活動への参加を控えようとする人が増えたことが要因として考えられる。
	社会活動・地域活動に参加した人の割合 令和6年度に 70.0%	62.1%	66.0	54.4	82.4	
	施策ごとのKPIの達成状況			9	11	

※施策ごとのKPIの詳細は参考資料1を参照

2 地方創生推進交付金・地方創生拠点整備交付金について

(1) 制度の概要及び実施状況

各交付金の制度概要、令和3年度の事業実施状況等は次のとおり。

	地方創生推進交付金	地方創生拠点整備交付金
対象事業	地方版総合戦略の本格的な推進に向けた地方創生の深化につながる先導的な事業	地方版総合戦略に位置付けられた事業のうち、地方創生の観点から未来への投資の基盤となることが明確な施設整備事業
国予算規模	1,000億円(令和3年度当初予算措置)	500億円(令和2年度補正予算措置)
補助率	1/2	1/2
実施事業数	政策間連携による一体的な事業実施の観点からパッケージ化した20事業	-
交付金充当額	5億1,920万円	-

(2) KPIの達成状況

令和3年度に実施した地方創生推進交付金20事業に加え、平成29、30年度に実施した地方創生拠点整備交付金(令和3年度評価対象分)4事業の計24事業について設定した68のKPIの達成状況は次のとおり。

達成率	100%以上	80~100% 未満	60~80% 未満	60%未満	未判明	計
地方創生推進交付金	25	11	5	19	1	61
地方創生拠点整備交付金	0	1	1	4	1	7
計	25	12	6	23	2	68

※交付金事業の概要は参考資料2を参照

3 地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)について

(1) 制度の概要

地方創生の取組を加速させるため、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して当該地方公共団体に本社が所在しない企業が寄附を行った場合に法人関係税から税額控除される制度。

(2) 令和3年度の実施状況

7事業に対して、16社から7,550千円の寄附金を受領。

(3) KPIの達成状況

KPIは第2期あきた未来総合戦略の基本目標のKPIを準用している。達成状況は、「1 あきた未来総合戦略における基本目標ごとの進捗状況について」のとおり。

※寄附活用事業の概要は参考資料3を参照

あきた未来総合戦略における施策ごとの指標達成状況及び評価一覧表

参考資料 1

1 産業振興による仕事づくり

(1) 地域産業力の競争力強化

施策名	具体的施策	指標名	単位	現状値 (原則H30)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	実績の判明時期
(ア) 地域経済を牽引する成長分野の競争力強化	②航空機・自動車産業の振興	●輸送用機械器具製造業の製造品出荷額	億円	1,423	目標	1,476	1,506	1,547	1,598	1,652	翌年度9月頃
					実績	1,212	未判明				
					達成率	82.1%					
	③新エネルギー関連産業の振興	●風力発電の導入量	万KW	44	目標	62.0	77.5	78.5	79.5	80.5	
					実績	64.8	64.8				
					達成率	104.5%	83.6%				
	④医療福祉関連産業の振興	●医療用機械器具製造品出荷額等	億円	595 (H29)	目標	635	660	686	713	742	翌々年度1月頃 (権報概要版) を元に県で独自 集計
					実績	未判明	未判明				
					達成率	未判明	未判明				
	⑤情報関連産業の振興	●情報関連企業の売上高	億円	244 (H27)	目標	277	288	304	324	346	
					実績	296	未判明				
					達成率	106.9%	未判明				
(イ) 地域産業の活性化と生産性向上	①企業競争力の強化 ⑤伝統的工芸品等産業の振興 ⑥食品製造業の振興	●製造品出荷額等	億円	13,755 (H29)	目標	14,683	15,006	15,336	15,673	16,018	翌々年度2月頃 (速報) 翌々年度8月頃 (確報)
					実績	未判明	未判明				
					達成率	未判明	未判明				
	②起業・創業の推進	●開業率	%	2.6	目標	2.8	3.0	3.3	3.5	3.7	
					実績	2.7	2.4				
					達成率	96.4%	80.0%				
	③事業承継の推進	●事業承継計画の策定件数	件	269 (単年度)	目標 (5か年累計)	200	400	600	800	1,000	
					実績	166	667				
					達成率	83.0%	166.8%				
(ウ) 海外展開と企業立地の促進	①海外展開の推進	●海外展開に新たに取り組む企業数	社	7 (単年度)	目標 (5か年累計)	10	20	30	40	50	
					実績	9	19				
					達成率	90.0%	95.0%				
	②企業立地等の促進	●企業の誘致件数及び誘致済企業等の施設・設備の 拡充件数 (本社機能等を移転した企業を含む)	件	24 (単年度)	目標 (5か年累計)	26	52	79	106	133	
					実績	25	56				
					達成率	96.2%	107.7%				

施策名	具体的施策	指標名	単位	現状値 (原則H30)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	実績の判明時期
(エ) 多様な人材が活躍できる環境の整備	①中核人材の確保	●Aターン就職者数 (再掲) ※2-(2)-(ア)-②	人	1,134	目標	1,150	1,300	1,300	1,300	1,300	
					実績	1,120	1,183				
					達成率	97.4%	91.0%				
	②多様な人材の働き方を実現する環境の整備	●高校生の県内就職率 (再掲) ※2-(3)-(ア)-①	%	65.0	目標	72.0	74.0	74.0	74.0	74.0	翌年度12月
					実績	72.6	未判明				
					達成率	100.8%					
	③高等学校と企業等の連携強化と専門人材の育成	●県内大学生等の県内就職率 (再掲) ※2-(3)-(イ)-②	%	45.3	目標	48.0	51.0	54.0	57.0	60.0	
					実績	46.7	48.5				
					達成率	97.3%	95.1%				

(2) 農林水産業の成長産業化の促進

施策名	具体的施策	指標名	単位	現状値 (原則H30)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	実績の判明時期
(ア) 人口減少社会を見据えた多様な担い手・労働力の確保	①秋田の農業をリードする競争力の高い経営体づくり	●農業法人数(認定農業者)	法人	656	目標	790	850	920	990	1060	
					実績	778	816				
					達成率	98.5%	96.0%				
	②多様なルートや幅広い年齢層からの新規就業者の確保・育成	●新規就農者数	人	225	目標	260	270	270	270	270	翌年度9月中旬
					実績	252	未判明				
					達成率	96.9%					
	③農業労働力の安定確保と農作業の軽労化の促進	●農業法人における雇用マッチング数	件	50	目標	80	140	220	260	260	
					実績	564	979				
					達成率	705.0%	699.3%				
(イ) 収益性の高い生産構造への転換に向けた取組のパワーアップ	①園芸品目(野菜、果樹、花き等)の生産拡大	●主要園芸品目の系統販売額	百万円	15,589	目標	20,300	21,200	21,874	22,570	23,277	
					実績	16,674	14,938				
					達成率	82.1%	70.5%				
	③秋田米の戦略的な生産・販売と水田フル活用	●全国に占める秋田米のシェア	%	5.95	目標	5.60	5.66	5.88	5.97	6.06	翌年度12月 (翌年度7月末に速報値判明)
					実績	6.29	未判明				
					達成率	112.3%					
	④農林水産物の高付加価値化と国内外への展開強化	●6次化事業体販売金額	百万円	17,188 (H29)	目標	18,600	20,000	20,700	21,400	22,000	翌年度3月末
					実績	16,409	未判明				
					達成率	88.2%					
	⑤森林資源の適切な管理と秋田スギの需要拡大に対応した生産・加工体制等の整備	●素材生産量	千㎡	1,519	目標	1,673	1,700	1,720	1,740	1,750	
					実績	1,425	1,508				
					達成率	85.2%	88.7%				
⑥水産資源の維持・増大と水産ビジネスの展開	●海面漁業協同組合員1人当たりの漁業生産額	千円	2,832	目標	2,945	3,002	3,059	3,115	3,115		
				実績	2,937	2,562					
				達成率	99.7%	85.3%					
(ウ) 先端技術の活用による次世代型農林水産業の確立	①先端技術を活用したスマート農業の展開	●米の10アールあたり労働時間	時間/10a	22 (H29)	目標	21	20	19	18	17	翌年度12月
					実績	21.26	未判明				
					達成率	98.8%					

(3) 観光を中心とした交流人口の拡大

施策名	具体的施策	指標名	単位	現状値 (原則H30)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	実績の判明時期
(ア) 秋田ならではの際立つ魅力発信	①首都圏等における集中プロモーションの展開	●延べ宿泊者数	千人泊	3,505	目標	3,700	3,800	3,900	4,000	4,100	
					実績	2,546	2,626				
					達成率	68.8%	69.1%				
	②ターゲットとなる海外市場からの誘客強化	●外国人延べ宿泊者数	人泊	123,430	目標	175,000	200,000	225,000	250,000	275,000	
					実績	25,380	8,110				
					達成率	14.5%	4.1%				
	③秋田の食の首都圏・海外への売り込み強化	●加工食品・日本酒の輸出金額	百万円	788	目標	1,042	1,198	1,378	1,585	1,823	
					実績	668	1,158				
					達成率	64.1%	96.7%				
(イ) ICTの活用等による受入態勢の充実	①「売れる」観光資源への磨き上げ	●観光地点等入込客数	千人	34,484	目標	35,000	35,250	35,500	35,750	36,000	
					実績	18,360	18,738				
					達成率	52.5%	53.2%				
	②みんなにやさしい受入態勢の充実	●「やさしい観光宿泊施設」の割合	%	78	目標	80	81	82	83	84	
					実績	85	86				
					達成率	106.3%	106.2%				
	③民間宿泊施設の魅力向上	●魅力向上に取り組む施設の宿泊客の増加率	%		目標	102	104	106	108	110	
					実績	69	94				
					達成率	67.6%	90.4%				
(ウ) 文化・スポーツ等による交流拡大の推進	②新たな文化拠点を生かした賑わい創出	●あきた芸術劇場のホールイベント来場者数	千人	308 (H25-H29平均)	目標 (3か年累計)	-	-	310	620	930	
					実績						
					達成率						
	②新たな文化拠点を生かした賑わい創出	●あきた芸術劇場で開催される大規模イベント・興行件数	件	31 (H27-H29平均)	目標 (3か年累計)	-	-	40	80	120	
					実績						
					達成率						
	③秋田の強みを生かした大規模スポーツ大会の誘致やスポーツツーリズム等の推進	●大規模スポーツ大会とトップアスリートの合宿実施の件数	件	14 (単年度)	目標 (5か年累計)	17	34	51	68	85	
					実績	1	5				
					達成率	5.9%	14.7%				
	④教育資産を生かした海外諸国への秋田の魅力発信	●海外との教育交流活動の参加者数	人	114 (単年度)	目標 (5か年累計)	80	170	270	380	500	
					実績	0	0				
					達成率	0%	0%				

施策名	具体的施策	指標名	単位	現状値 (原則H30)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	実績の判明時期
(エ) 交流を支える交通ネットワークの充実	①広域交通の維持・拡充	●秋田県と県外間の旅客輸送人員数	千人	6,015 (H29)	目標	6,161	6,210	6,259	6,310	6,360	翌々年3～5月
					実績	1,676	未判明				
					達成率	27.2%					
	②高速道路の整備促進	●県内高速道路の供用率	%	90.1	目標	92	92	92	92	92	
					実績	92	92				
					達成率	100.0%	100.0%				
	④クルーズ振興の促進	●クルーズ船の寄港回数	回	26 (R1)	目標 (5か年累計)	30	62	95	129	164	
					実績	0	0				
					達成率	0%	0%				

2 新しい人の流れづくり

(1) 「関係人口」の創出・拡大

施策名	具体的施策	指標名	単位	現状値 (原則H30)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	実績の判明時期
(ア) 多様な形で地域と関わる県外在住者との絆づくり	②都市在住者の地域づくりへの参画促進	●「関係人口」との連携による新たな地域活動の実践件数	件	2	目標 (累積)	11	16	22	26	30	
					実績	9	13				
					達成率	81.8%	81.3%				
(イ) 関係人口創出・拡大に向けた環境の整備・充実	①秋田の人や自然に触れる教育留学の推進	●教育留学を行った県外の児童生徒数	人	98 (単年度)	目標 (5か年累計)	65	130	195	260	325	
					実績	—	18				
					達成率	—	13.8%				
	②研究機関・研機機関等の地方移転	●言語活動指導者養成研修への参加人数(受講者及び講師、引率等)	人	163 (単年度)	目標 (5か年累計)	138	276	414	552	690	
					実績	—	—				
					達成率	—	—				

(2) 首都圏等からの移住促進

施策名	具体的施策	指標名	単位	現状値 (原則H30)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	実績の判明時期
(ア) 秋田暮らしの魅力を伝える情報発信の強化	①移住相談体制の強化	●新規移住定住登録世帯数	世帯	579	目標	690	760	830	910	1,000	
					実績	645	820				
					達成率	93.5%	107.9%				
(イ) 安心して働ける多様な「しごと」情報の提供	①Aターン就職の促進	●Aターン就職者数	人	1,134	目標	1,150	1,300	1,300	1,300	1,300	
					実績	1,120	1,183				
					達成率	97.4%	91.0%				
	②秋田暮らしを支える多彩な働き方を支援	●移住起業支援事業による起業家数	人	11 (H27-H30累計)	目標 (5か年累計)	3	6	9	12	15	
					実績	13	42				
					達成率	433.3%	700.0%				
(ウ) ふるさと回帰を促す受入体制の充実	①移住・定住の促進を担う先輩移住者等団体の育成とネットワークづくり	●県と連携事業を行った移住者団体数	団体	8 (H31)	目標	10	12	14	16	16	
					実績	11	12				
					達成率	110.0%	100.0%				

(3) 若者の県内定着・回帰の促進

施策名	具体的施策	指標名	単位	現状値 (原則H30)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	実績の判明時期
(ア) 将来の秋田を創る高校生・大学生の県内定着・回帰促進	①早い段階からの県内企業への理解促進 ②高校生一人一人の進路希望に応じたきめ細かな就職支援の充実	●高校生の県内就職率	%	65.0	目標	72.0	74.0	74.0	74.0	74.0	翌年度12月
					実績	72.6	未判明				
					達成率	100.8%					
	③大学生等に対する情報提供・マッチング機会の拡大	●県内就職イベントへの大学生等の参加者数	人	1,279	目標	1,340	1,370	1,400	1,430	1,460	
					実績	1,617	2,111				
					達成率	120.7%	154.1%				
(イ) 魅力ある大学づくり等による若者の県内定着促進	①県内大学等の魅力アップによる県内高卒者の確保	●県内高卒者の県内大学・短大への進学率	%	28.8	目標	29.6	30.0	30.4	30.8	31.2	
					実績	28.1	30.7				
					達成率	94.9%	102.3%				
	②県内大学等と産業界との連携強化による大学生等と県内就職促進	●県内大学生等の県内就職率	%	45.3	目標	48.0	51.0	54.0	57.0	60.0	
					実績	46.7	48.5				
					達成率	97.3%	95.1%				

3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる社会づくり

(1) 結婚・出産・子育てに希望をもてる社会の実現

施策名	具体的施策	指標名	単位	現状値 (原則H30)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	実績の判明時期
(ア) 結婚・子育てを社会全体で応援する気運の醸成	①地域における子育て世代や次の親世代を核とした啓発活動の推進	●あきた結婚応援パスポートの協賛店舗の登録数	店		目標	440	580	720	860	1000	
					実績	271	351				
					達成率	61.6%	60.5%				
	②企業・団体との連携による普及啓発の促進	●あきた子育てふれあいカード協賛店舗の新規登録数	店		目標 (5か年累計)	60	120	180	240	300	
					実績	95	124				
					達成率	158.3%	103.3%				
(イ) ライフプランを学び考える機会の充実	①高校生や大学生等が学べる機会の提供	●ライフプランを意識することの必要性を理解した高校生等の割合	%		目標	80	83	86	88	90	
					実績	95.2	92.7				
					達成率	119.0%	111.7%				
	②結婚・子育てや家族を持つことへの理解を深める体験機会の創出	●子どもとのふれあいを肯定的に感じた中学生の割合	%		目標	80	83	86	88	90	
					実績	—	—				
					達成率	—	—				

(2) 出会いと結婚への支援の充実・強化

施策名	具体的施策	指標名	単位	現状値 (原則H30)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	実績の判明時期
(ア) 独身男女のマッチング支援の強化	①あきた結婚支援センターの認知度とイメージの向上	●あきた結婚支援センターの入会者数	人	575	目標	717	788	859	930	1,000	
					実績	649	514				
					達成率	90.5%	65.2%				
(イ) 多様な出会いの機会の創出	②すこやかあきた出会い応援隊・結婚サポーターと連携した支援活動の推進	●あきた結婚支援センターへの成婚報告者数	人	159	目標	225	230	235	240	245	
					実績	103	129				
					達成率	45.8%	56.1%				
(イ) 多様な出会いの機会の創出	①独身男女の多様なニーズにマッチした出会い・交流機会の創出	●すこやかあきた出会い応援隊のイベント開催件数	件	112	目標	80	90	110	130	150	
					実績	87	66				
					達成率	108.8%	73.3%				
(イ) 多様な出会いの機会の創出	②すこやかあきた出会い応援隊の活動促進に向けた支援の強化	●あきた結婚支援センターへの出会い・交流イベントの参加者報告者数	人	2,264	目標	1,300	1,600	1,900	2,200	2,500	
					実績	1,021	659				
					達成率	78.5%	41.2%				

(3) 妊娠・出産・子育てを支える環境づくりの推進

施策名	具体的施策	指標名	単位	現状値 (原則H30)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	実績の判明時期
(ア) 安心して出産できる環境の充実	①妊産婦への切れ目のない保健対策と不妊治療への支援	●妊娠・出産包括支援事業を実施している市町村数	市町村	2	目標	8	14	20	25	25	
					実績	6	10				
					達成率	75.0%	71.4%				
(イ) オール秋田で子育てを支える体制づくりの推進	②妊よう性温存に対する支援の充実	●がん診療連携拠点病院等における妊よう性温存についての相談件数	件	11	目標	15	19	23	27	31	
					実績	16	19				
					達成率	106.7%	100.0%				
(イ) オール秋田で子育てを支える体制づくりの推進	①子育てを後押しする体制の充実・強化	●子育て世代包括支援センターの設置市町村数	市町村	8	目標	13	16	19	22	25	
					実績	25	25				
					達成率	192.3%	156.3%				
(イ) オール秋田で子育てを支える体制づくりの推進	②就業前の教育・保育の充実	●翌年度4月1日時点の保育所等の待機児童数	人	65	目標	0	0	0	0	0	
					実績	10	7				
					達成率	0%	0%				
(イ) オール秋田で子育てを支える体制づくりの推進	③地域と学校が支え合い、地域ぐるみで子どもを育てる体制の充実	●市町村における統括コーディネーターの配置率	%	16.0	目標	75	100	100	100	100	
					実績	24	36				
					達成率	32.0%	36.0%				
(ウ) 子育て家庭の経済的負担の軽減	①安心して希望どおりに子どもを産み育てられる経済的支援	●第1子出生数	人	2,274	目標	2,274	2,274	2,274	2,274	2,274	翌年度9月
					実績	2,014	未判明				
					達成率	88.6%					

(4) あらゆる分野における女性の活躍推進

施策名	具体的施策	指標名	単位	現状値 (原則H30)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	実績の判明時期
(ア) 女性一人ひとりが活躍できる環境づくりの推進	①女性のキャリアアップや再就職に向けた支援の強化	●県内民間事業所における女性管理職の割合	%	5.9	目標	6.1	6.2	6.3	6.4	6.5	
					実績	5.6	5.9				
					達成率	91.8%	95.2%				
	②地域活動に取り組む女性の活躍推進	●「男は仕事、女は家庭」という意識への反対意見の割合	%	61.2	目標	61.8	62.5	63.2	63.9	64.6	
					実績	63.0	64.3				
					達成率	101.9%	102.9%				
(イ) 女性が活躍し続けられる職場づくりの推進	①企業における女性の活躍推進に向けた取組への支援の強化	●次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業数(従業員数100人以下の企業)	社	361	目標	440	480	520	560	600	
					実績	518	559				
					達成率	117.7%	116.5%				
	②仕事と子育てを両立できる環境づくりの推進	●県内民間事業所における男性の育児休業取得率	%	6.2	目標	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	
					実績	10.7	14.8				
					達成率	152.9%	185.0%				

4 新たな時代に対応した地域づくり・人づくり

(1) 新たな「地域の支え合い」づくり

施策名	具体的施策	指標名	単位	現状値 (原則H30)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	実績の判明時期
(ア) 住民主体の地域コミュニティの形成	①「元気ムラ」活動の展開による地域の活性化と生きがいづくり	●元気ムラ新規登録地域数	地域	5 (単年度)	目標 (5か年累計)	5	10	15	20	25	
					実績	0	0				
					達成率	0%	0%				
		●集落連携によりGBビジネスに新たに取り組む地域の数	地域	8 (単年度)	目標 (5か年累計)	2	4	6	8	10	
					実績	1	1				
					達成率	50.0%	25.0%				
	②集落機能の維持を図るための新たな生活圏の形成	●コミュニティ生活圏において住民が策定したランドデザインに基づく取組が開始された地域数	地域	0	目標 (5か年累計)	0	5	11	25	25	
					実績	0	4				
					達成率	—	80.0%				
(イ) 地域と学校が連携したコミュニティづくり	②学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)の導入	●学校運営協議会制度を導入している学校(コミュニティ・スクール)の割合	%	38.9	目標	43.9	48.9	53.9	58.9	63.9	
					実績	48.8	53.4				
					達成率	111.2%	109.2%				

(2) 秋田の未来を支える人づくり

施策名	具体的施策	指標名	単位	現状値 (原則H30)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	実績の判明時期
(ア) 地域づくり人材・組織の育成と若者の活躍推進	①地域コミュニティを支える組織や人づくり	●地域づくり活動をコーディネートする人材の育成数	人	/	目標 (5か年累計)	4	8	12	16	20	/
					実績	23	23				
					達成率	575.0%	287.5%				
	④次代を担う若者の活躍推進	●若者による秋田の活性化や地域貢献に資する取組の実践件数	件	/	目標 (5か年累計)	1	4	10	20	30	/
					実績	1	11				
					達成率	100.0%	275.0%				
(イ) 小・中・高等学校における人材育成	①問題発見・解決能力等の育成に向けた探究的な学習活動の推進	●秋田県高等学校学習状況調査において、生徒が授業における話し合い等を通して、主体的に自分の考えを表現する活動を行っていると回答した割合	%	89.6	目標	90.3	91.0	91.7	92.4	93.1	/
					実績	89.7	92.8				
					達成率	99.3%	102.0%				
	②地域で活躍できる人材の育成等	●地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合(小6、中3)	%	55.1 (H29)	目標	61.0	63.0	64.0	65.0	66.0	/
					実績	—	65.1				
					達成率	—	103.3%				
	③英語コミュニケーション能力育成に向けた小・中・高一貫した取組の推進	●イングリッシュキャンプに参加した児童生徒数	人	624 (R1)	目標	785	800	800	800	800	/
					実績	—	40				
					達成率	—	5.0%				
(ウ) 高齢者、障害者、外国人等全ての人の活躍支援	⑤子どもの貧困対策の強化	●子ども食堂や制服等リユースなど子どもの貧困対策を実施している民間団体等がある市町村数	市町村	7	目標	12	15	18	21	25	/
					実績	10	14				
					達成率	83.3%	93.3%				
	⑥県民の国際理解の推進と多文化共生社会の構築	●秋田県外国人相談センターの相談対応言語数	言語	5	目標	6	7	7	8	11	/
					実績	6	6				
					達成率	100.0%	85.7%				
	⑦若者や高齢者を重点にした消費者教育の推進	●生活センターの啓発講座等への参加者数	人	4,101	目標 (5か年累計)	5,900	11,800	17,700	23,600	29,500	/
					実績	2,022	3,586				
					達成率	34.3%	30.4%				

(3) 安全・安心な暮らしを守る環境づくり

施策名	具体的施策	指標名	単位	現状値 (原則H30)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	実績の判明時期
(ア) 健康で長生きできる環境の確保	①県民の健康意識の向上の推進 ②健康づくりに取り組みやすい環境整備 ③健康づくり活動の推進	●秋田県健康づくり県民運動推進協議会の会員数	団体	94	目標	115	125	135	145	155	
					実績	158	184				
					達成率	137.4%	147.2%				
		●健康長寿推進員の育成数	人	503	目標 (累計)	1,200	2,000	2,100	2,200	2,300	
					実績	1,340	1,663				
					達成率	111.7%	83.2%				
		●秋田県版健康経営優良法人の認定数	法人	0	目標	20	30	40	50	60	
					実績	54	68				
					達成率	270.0%	226.7%				
(イ) 持続可能な地域環境づくり	①県と市町村、市町村間相互の協働・連携による行政サービスの確保	●自治体間の連携が実現した取組数(累計)	件	36	目標 (累計)	60	72	84	96	108	
					実績	62	76.0				
					達成率	103.3%	105.6%				
	②地域の実情に応じた生活交通の確保	●一般乗合旅客自動車運送事業免許キロ数	km	4,188	目標	4,188	4,188	4,188	4,188	4,188	
					実績	4,212	4,123				
					達成率	100.6%	98.4%				
	③地域力向上による除排雪体制の確立	●除排雪団体数	団体	43	目標 (累計)	55	60	65	70	75	
					実績	51	57				
					達成率	92.7%	95.0%				
	⑥コンパクト・プラス・ネットワークの推進	●市町の立地適正化計画策定件数	市町	5	目標	6	7	8	9	9	
					実績	5	6				
					達成率	83.3%	85.7%				
(ウ) インフラのマネジメント強化	②生活排水処理の広域化・共同化の推進	●生活排水処理事業における連携数	件	19	目標	24	34	42	54	63	
					実績	28	34				
					達成率	116.7%	100.0%				
	③水道施設強靱化の推進	●基幹管路の耐震適合率	%	24.4	目標	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0	翌年度1月末
					実績	25.0	未判明				
					達成率	96.2%					

KPIの達成状況	R2	R3	R4	R5
達成	30	26		
未達成	44	41		
なし	8	4		
未判明	2	13		
計	84	84		

地方創生関係交付金を活用した事業に係る実施結果について

1 地方創生推進交付金分

No	パッケージ事業名 (事業(予定)期間) 内訳事業名	事業概要	KPI	現状値 (申請時)	目標値 (R3)	実績 (R3)	達成率	令和4年度 対応状況
1	高効率電動モーターコイルを核とした自動車部品製造拠点創出事業 (H29～R3)	①効率的な生産体制の構築により受注獲得につなげ、県内の関連産業全体の付加価値向上を図るため、自動車メーカーOBによる品質安全管理教育や自動車メーカー職員によるマッチング機会の提供を実施した。 ② 県内企業1社に対し、域外からの需要確保の最大化を図り付加価値向上を実現するため、設備導入に対し支援を行った。	県内輸送用機械器具産業の付加価値創出額(百万円)	19,612	21,068	22,091	104.9	終了
	県内輸送用機械器具産業の製造品出荷額等(百万円)		61,850	64,388	67,079	104.2		
	交付金事業に関係する企業の従業員数(人)		64	156	108	69.2		
2	「秋田の空」のものづくり拠点形成事業 (H29～R3)	①航空機関連企業を始めとする県内企業の中核人材育成のため、加工技術、品質管理、生産性等の向上などをテーマとした講座を5回開催した。(7社8名参加) ②SNSを活用し、航空機関連企業等の情報を若者向けに発信した。 ③秋田大学の技術シーズを活用した炭素繊維強化プラスチック(CFRP)の低コスト成形、硬化技術、品質評価技術の研究開発を実施した。	航空機関連の出荷額(千円)	2,600,000	6,400,000	1,885,550	29.5	終了
	国際認証(Nadcap)及び航空宇宙分野マネジメントシステム(JISQ9100)認証取得件数(件)		8	21	8	38.1		
	特許数(件)		2	17	23	135.3		
	電動航空機用の県内企業試作受注件数(件)		0	2	7	350.0		
3	世界に売り込めCool Akitaプロジェクト (R1～R3)	①本県への継続的な寄港につなげるため、船社等招聘事業を実施し、本県の観光コンテンツ等を紹介した。 ②コロナ禍におけるクルーズ船の受入再開に向けて態勢を整備するとともに、受入関係者を対象としたセミナーを開催した。 ③台湾における食と観光セミナーの実施や日本在住の台湾人インフルエンサーの招聘を通じて情報発信を行ったほか、航空会社と連携したPRイベントを実施した。 また、バンコクで開催された旅行博に出展したほか、タイのインフルエンサーやメディアに秋田県の観光に関するセミナーを実施し、観光情報の発信を行った。 ④本県の食や観光をクルーズ船社等にPRするため、パンフレットを作成の上、配布した。 ⑤台北における国際的な食品展示会に秋田県ブースを出展し、19商品を展示した。また、台北の百貨店や小売店において「あきたフェア」(26商品取扱)を実施したほか、ECやSNSを活用した「バーチャルあきたフェア」(10商品取扱)を実施した。 ⑥フランスへの県産食材の振興を図るため、パリにおいて県産食材の商談会を開催した。	加工食品・日本酒の輸出金額(当該交付金事業を活用して実施した商談会やバイヤー招聘等で成約した金額)(万円)	600	1,200	2,082	173.5	終了
	クルーズ船寄港回数(回)		15	31	0	0.0		
	クルーズ船メニューへの県産食材販売金額(万円)		44	1,000	0	0.0		

No	パッケージ事業名 (事業(予定)期間)	事業概要	KPI	現状値 (申請時)	目標値 (R3)	実績 (R3)	達成率	令和4年度 対応状況
	内訳事業名							
4	秋田の地域コミュニティ創生事業 (R1~R3)	<p>①複数のモデル地区において、現地調査やワークショップ等の開催、地区の行動計画の策定支援を行い、コミュニティ生活圏の形成を推進した。</p> <p>②高齢者の経験や技を生かし、山菜等の地域資源を収益に結びつけ、いきがいきの側面を持つGBビジネスの共同出荷等の取組を推進した。</p> <p>③女性農業者等の新商品開発や販路拡大などの取組5件を支援した。また、1直売所に専門家を派遣し、集荷の方法や商品展示に関する指導を実施した。</p> <p>④地域住民が運営する「お互いさまスーパー」の新規設置に向けた支援や、既存スーパーによるネットワーク会議を開催し、情報共有や機能強化を行った。</p>	新たに集落活動の担い手となる人材の育成数(人)	0	90	78	86.7	終了
	<p>①コミュニティ生活圏形成推進事業</p> <p>②GBビジネスでつげぐ進進事業</p> <p>③次世代アグリヴィーナス応援事業</p> <p>④小さな拠点形成事業</p>		GBビジネスにおける集落ネットワークによる共同出荷の売上額(千円)	18,000	31,000	17,693	57.1	
			直売1組織あたり販売額(販売額500万以上直売組織)(千円)	63,800	71,450	72,230	101.1	
			中山間地域等において、コミュニティ生活圏形成事業により、一次生活圏を構成する「コミュニティ生活圏」(集落生活圏)を形成する地域数(地域)	0	480	161	33.5	
5	ヘルステック産業拠点創出支援事業 (R1~R3)	<p>①製品開発力及び販売力の強化</p> <p>(1)医療ニーズ発表会、秋田県臨床工学技士会と県内企業との交流会の開催</p> <p>・秋田県臨床工学技士会・秋田県理学療法士会ほか2団体と県内企業との医療ニーズ発表会の開催(1回、51名参加)</p> <p>(2)展示会出展、マッチング支援</p> <p>・秋田県医療福祉関連ヘルスケア関連企業ガイドブック作成(1,500部)</p> <p>・首都圏商談会の開催(20社参加)</p> <p>②ヘルステック産業拠点の創出支援</p> <p>【ダイアグノスティクス事業】</p> <p>(1)迅速病理染色装置向け専用試薬製造体制構築</p> <p>・当該試薬の上市に向け、試作製造ライン及びQMS省令に対応したシステムを構築した。</p>	地域経済牽引事業者の付加価値創出額(百万円)	0	3,288	0	0.0	終了
	<p>①ヘルステック産業拠点創出支援事業</p> <p>②ヘルステック産業拠点創出支援事業(地域経済牽引事業者)</p>		地域経済牽引事業者の売上額(百万円)	0	3,480	1	0.0	
			医療ニーズ発表会等への参加者数(人)	0	100	51	51.0	
			地域経済牽引事業者の雇用者数(人)	5	26	2	7.7	
6	水稻新品種のブランド化を契機とした地域経済の活性化 (R1~R3)	<p>①現地栽培試験(3か所)や食味評価試験等(43点)により得られたデータを基に栽培マニュアルを改訂したほか、栽培研修会の実施(5回)や生産者協議会の設立により、高品質米を安定的に供給できる体制を強化した。</p> <p>②「サキホコレ」の原種圃場へのコンタミを防止するため、圃場の浄化作業を実施した。</p> <p>③総合プロデューサー監修のもと、統一感のあるイメージ展開で先行販売を実施した。また、品種登録(国内、中国、韓国)、商標登録(国内、中国、香港、台湾)の手続きを進めた。</p> <p>④パッケージデザイン発表イベントや先行販売イベント、各種媒体の活用(TV、新聞、雑誌、交通広告、WEB等)、サンプル米配布キャンペーン等を実施し、知名度の向上を図った。</p> <p>⑤本部会議(2回)、生産部会(1回)、流通・販売部会(1回)を開催した。</p> <p>⑥高品質出荷体制構築のため、食味分析計3台を2生産団体に導入した。</p>	新品種の作付面積(ha)	0.12	80.0	79.8	99.8	終了
	<p>①確かな品質で安定供給できる生産体制確立事業</p> <p>②確かな品質で安定供給できる生産体制確立事業(種子生産対策)</p> <p>③トップブランド米の地位確立に向けた流通・販売対策事業</p> <p>④知名度や関心を高めるための戦略的な情報発信事業</p> <p>⑤ブランド化戦略推進体制整備事業</p> <p>⑥トップブランド米の地位確立に向けた流通・販売対策事業(ハード)</p>		新品種の産出額(億円)	0	1.11	1.12	100.9	
			販売・飲食提供店舗数(か所)	0	50	1,319	2638.0	
			イベント、交流会の参加人数(人)	0	150	987	658.0	

No	パッケージ事業名 (事業(予定)期間)	事業概要	KPI	現状値 (申請時)	目標値 (R3)	実績 (R3)	達成率	令和4年度 対応状況
	内訳事業名							
7	健康づくり県民運動推進事業(「あきた健康宣言！」推進事業・生活習慣病対策事業) (R1～R3)	<p>①・各種広報媒体を活用した健康づくりに関する普及啓発(TV、ラジオ、新聞メディア委託費等)を実施した。</p> <p>・健康づくり県民運動の実施主体である「秋田県健康づくり県民運動推進協議会」に係る活動を行ったほか、政策提言や評価を行う「あきた健康長寿政策会議」を開催した。</p> <p>・協議会会員の活動情報の発信(ウェブサイト、SNS)を行った。</p> <p>②・市町村による健康意識の高い人材「健康長寿推進員」の育成に対する支援を行った。</p> <p>・地域や職場の健康づくりリーダー「健康づくり地域マスター」を任命・育成し、事業所等に派遣した。</p> <p>③秋田県版健康経営優良法人認定制度の活用による健康経営の普及を図った。</p> <p>④・地域住民への食生活の普及啓発(秋田県食生活改善推進協議会委託事業等の実施)を行った。</p> <p>・ライフステージに応じた普及啓発(秋田県栄養士会委託事業等の実施)を行った。</p> <p>・減塩・野菜摂取に向けたスーパー等と連携したキャンペーンを実施した。</p> <p>・食育ボランティア等関係者とのネットワーク構築及び人材育成を実施した。</p> <p>⑤健康な食事認証制度の普及拡大(認証・PR事業)及び消費者教育に取り組んだ。</p> <p>・新・減塩音頭を作成し、減塩、野菜・果物摂取に向けた意識向上・普及啓発に取り組んだ。</p> <p>・地域の人材育成のための食生活改善講座を開催し、栄養・食生活を専門に普及する人材の確保・育成を図った。</p> <p>⑥屋内施設(いとく大館SC)におけるウォーキングイベントを開催した。</p> <p>⑥個人インセンティブ制度を導入する市町村のサポート(協賛企業の募集等)や、各市町村による実施状況の情報共有を行った。</p> <p>⑦アルコール健康障害対策の普及啓発を行った。</p> <p>⑧健康づくりに関する県民アンケート調査を実施した。</p> <p>⑨保険者(国保、協会けんぽ、後期高齢)データベースの統合による健診、医療費等に係るデータ集及び「見える化」資料の作成と利用促進を行った。</p> <p>⑩県民への健康と医療に関する普及啓発(秋田県医師会補助事業)を行った。</p>	健康寿命(男性、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間)(年)	71.21	73.21	R3実績未公表	—	終了
	①「あきた健康宣言！」推進事業 ②地域健康づくり人材活性化事業 ③健康経営普及事業 ④食からの健康応援事業 ⑤運動による健康づくり推進事業 ⑥健康ポイント導入支援事業 ⑦「健康な美酒王国」秋田推進事業 ⑧健康づくりに関する調査事業 ⑨健康づくりのためのデータ活用推進事業 ⑩「県民の健康と医療を考える集い」開催事業		健康づくりのリーダー「健康づくり地域マスター」の登録者数(人)	0	400	203	50.8	
	県版健康経営優良事業所認定数(箇所)		0	70	68	97.1		
	県内大学生等の県内就職者数(人)		981	1,011	1,017	100.6		
8	地域を支える「関係人口」創出プロジェクト (R2～R4)	<p>①市町村等との事例共有や本県での効果的な取組の検討実施し、関係人口の創出・拡大を図った。</p> <p>②市町村等と連携し、都市圏居住者等と県内受入団体とのオンラインによる交流や現地交流を通じて、関係人口の創出や関係性の深化を図った。</p> <p>③ワーケーション関係市町村等担当者会議を2回開催したほか、ガイドブック・リーフレットの作成(各1,000部)やワーケーション推進団体が行うHP開設及びPRイベント開催への助成を行った。</p>	「関係人口」との連携による新たな地域課題解決の取組件数(件)	7	16	13	81.3	継続
	①「関係人口」受入体制推進事業 ②県外在住者と連携した「関係人口」創出・拡大事業 ③ワーケーション促進事業		県内外において「秋田県」を応援したい人と地域を結びつけるコーディネート者の育成数(人)	0	4	1	25.0	
	県内において、「関係人口」と人材を必要とする地域をマッチングする中間支援団体の育成数(団体)		3	7	8	114.3		

No	パッケージ事業名 (事業(予定)期間)	事業概要	KPI	現状値 (申請時)	目標値 (R3)	実績 (R3)	達成率	令和4年度 対応状況
	内訳事業名							
9	アウトドア・アクティビティの聖地創造広域連携事業 (R2～R4)	<p>①登山ルートや見どころ、アウトドア・アクティビティ、大仙市・美郷町の観光スポットを紹介する動画を制作し、ウェブサイトや動画配信サイト、町で設置するデジタルサイネージなどを通じてPRした。 また、当エリアの新たな魅力であるアウトドア・アクティビティを発信するため、様々なアクティビティを実際に体験できるアウトドアフェスティバルを開催した。 ②設置後50年近く経過し、老朽化が著しい公衆トイレの改修を行った。</p>	薬師連山・真木渓谷・川口渓谷への入り込み(入山)者数(人)	12,198	18,198	11,856	65.2	継続
	①アウトドア・アクティビティによる真木真屋魅力創生事業【ソフト事業・情報発信事業】 ②アウトドア・アクティビティによる真木真屋魅力創生事業【ハード事業・施設整備】		真木真屋県立自然公園エリアへの観光入り込み客数(県観光統計)(人)	20,771	30,971	15,736	50.8	
			真木真屋県立自然公園の案内人等への新たな従事者(人)	6	13	36	276.9	
10	秋田県若者の県内定着・回帰促進事業 (R2～R4)	<p>①高校1年生を対象とした地元企業見学会やガイダンス等を実施し、51校の生徒4,788人が参加した。また、高校2年生を対象とした企業説明会を地域振興局ごとに開催し、28校の生徒1,617人と県内企業延べ219社が参加した。 ②学校に職場定着支援員(4名)を配置することにより、高校生の社会的・職業的自立に必要な力を育み、地域や社会に貢献できる人材を育成するとともに、県内就職の促進と早期離職の防止を図る。 ③県内8地域振興局に若者定着支援員を8名配置し、県内企業における求人開拓や、各高校への企業情報の提供等を通じた県内定着支援の取組により、県内就職者の三年後の離職率は前年度よりも改善した(31.8%←1.6%)。(労働局調べ) ④オンラインと対面を組み合わせ、合同就職面接会2回、業界研究会1回、業界研究セミナー3回、合同就職説明会2回を開催し、学生延べ1,859人、企業延べ694社が参加した。 ⑤県内企業の賃金水準等の労働環境やアピールポイントを紹介する「秋田県建設企業ガイドブック2021」を作成し、県内外の大学等へ配布した。</p>	県内大学生の県内就職率(%)	45.3	50.3	48.5	96.4	継続
	①高校生県内就職率UP事業 ②職場定着支援員配置事業 ③若者定着支援員の配置事業 ④大学生のマッチング機会拡大事業 ⑤秋田に定着する建設人材育成支援事業		インターンシップ参加人数(県関与分)(件)	36	56	50	89.3	
			インターンシップ受入企業数(県関与分)(件)	26	46	20	43.5	
			新規学卒就職者(高校生)の3年後離職率(%)	34.4	33.8	31.8	106.3	
11	社会減の抑制のための移住促進強化事業 (R2～R4)	<p>①新たな移住者等団体と連携し、移住者の視点を取り入れた移住情報を発信するオンラインツアーを開催した。 ②移住希望者を対象に、市町村や県内企業と連携して秋田暮らしと仕事等を紹介する「あきた移住・就業フェア」をオンラインにより1回開催した(参加者145人)。 ③県外在住者及び移住後3年未満の者を対象として、本県の地域資源を活用した移住起業育成プログラムを実施した(参加者延べ310人)。</p>	移住定住登録を経て本県に移住した人数(人)	459	550	669	121.6	継続
	①「人が人を呼ぶ好循環」推進事業 ②あきた移住・就業フェア開催事業 ③地域に根差した起業・移住支援事業							
12	輝け「食の国あきた」地域活性化プロジェクト (R2～R4)	<p>①フリーズドライ加工の拠点設備を整備し、県内企業からのフリーズドライ加工受託や、二次商品化等の取組の周知等、支援チームによるフォローアップを行った。 ②県内外の中食・外食企業と業務用市場への販路開拓に取り組もうとする県内食品事業者とのマッチングを図った結果、10件の成約に繋がった。 ③食品製造支援コーディネーター1名を配置し、食品製造事業者の事業規模拡大の取組を支援した(支援プラン提案7件、マッチング成約3件)。 ④「あきた発酵ツーリズム」による誘客に向けた取組に対して補助金の交付を決定したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、採択した2件ともに事業中止となった。 ⑤新型コロナウイルス感染症対応のため、あきた発酵ツーリズムオンラインイベントを開催し、県外在住者を中心に計53名が参加したほか、ガイドブックを3,000部制作し、関係機関に配布した。 ⑥秋田の発酵食文化を伝承し、魅力を県内外に情報発信する「あきた発酵伝導士」を育成する研修講座を開催し、新たに50名を認定した。また、R2年度の認定者に対し、フォローアップ講座も実施した。</p>	食品産業モデル事業者の新商品や新分野への販売額(千円)	0	200,000	236,895	118.4	継続
	①あきた食品産業活性化モデル事業 ②マーケットニーズ対応型商材開拓事業 ③食品事業者躍進支援事業 ④発酵の郷づくり推進事業 ⑤発酵の国あきた誘客促進事業 ⑥あきたの発酵食文化発信事業		中食・外食販路先との成約・取引開始(社)	0	6	10	166.7	
			各種支援制度を活用した支援プラン提案・取引先マッチング成約件数(件)	0	20	20	100.0	
			発酵ツーリズム拠点施設及び拠点エリア「発酵の郷」への来場者数(千人)	19	42.8	42	98.5	

No	パッケージ事業名 (事業(予定)期間)	事業概要	KPI	現状値 (申請時)	目標値 (R3)	実績 (R3)	達成率	令和4年度 対応状況
	内訳事業名							
13	プロフェッショナル人材活用普及促進事業 (R2～R4)	<p>①企業訪問等により233件の相談対応を行い、その中から具体化された人材ニーズ173件を連携している人材紹介事業者等に取り次いだ結果、前年度以前からの取り次ぎ案件を含め71件の人材獲得に至った。また、プロフェッショナル人材の活用を促進するため、商工団体や金融機関等で構成する協議会を開催したほか、人材紹介事業者との情報交換会等を行った。</p> <p>②人員体制を拡充し実施した副業・兼業形態によるプロフェッショナル人材の活用支援については、企業訪問等を通じて掘り起こした人材ニーズのうち、19件を契約成立に繋げた。また、県内中小企業者の副業・兼業人材の活用を喚起するため、プロフェッショナル人材戦略拠点を通じて副業・兼業人材を採用した4社をパネリストに迎え、Webセミナーを開催した。</p> <p>③プロフェッショナル人材戦略拠点を通じて県内への移住を伴うかたちでプロフェッショナル人材を獲得した企業に対し、人材紹介会社に支払う紹介手数料の一部を補助した。</p> <p>④プロフェッショナル人材戦略拠点を通じ、首都圏の大企業等から副業・兼業の形態で人材を受け入れる場合に、当該人材が県内企業の所在地等を訪れて業務に従事する際に受入企業が負担した経費(交通費、宿泊費)の一部を補助した。</p>	経営者との相談件数(件)	527	932	998	107.1	継続
	<p>①プロフェッショナル人材戦略拠点設置事業</p> <p>②プロフェッショナル人材戦略拠点設置事業 (体制拡充分)</p> <p>③プロフェッショナル人材活用促進事業</p> <p>④大企業人材等活用促進事業</p>		人材紹介事業者への取り繋ぎ件数(件)	365	657	736	112.0	
			成約件数(副業・兼業等を除く)(件)	113	205	236	115.1	
			副業・兼業等による成約件数(件)	0	5	22	440.0	
14	秋田版スマート農業モデル創出事業 (R3～R7)	<p>①(1)アドバイザーボードの開催 「秋田版スマート農業モデル創出事業アドバイザーボード」を開催し(2回)、外部有識者の委員から事業計画・進捗に対し評価・助言をいただいた。</p> <p>(2)広報 県広報誌「あきたびじょん」により、秋田県立大学アグリイノベーション教育研究センターの取組を県民に周知した。(1回)</p> <p>(3)秋田版スマート農業モデル創出事業費補助金 秋田県立大学が代表研究機関として実施する次の取組に対して補助した。</p> <p>【秋田版スマート農業モデル創出事業コンソーシアムの開催】 キックオフフォーラムのほか、設立総会、研究会、幹事会を開催した。(各1回)</p> <p>【各研究(7テーマ)】 5Gリモート農業、アグリデジタルツイン、超省カスマート農業、ICT肉牛放牧による飼養管理、果菜類収穫ロボットの開発、秋田周年化モデル、秋田版農業情報基盤の構築</p> <p>【実践的スマート農業教育】 スマート農業指導士育成プログラムを策定した。</p> <p>【スマート農業普及に向けた農場体験・展示・出前講座】 農業高校を対象にした体験授業を実施した。(1校)</p> <p>②秋田版スマート農業モデル創出事業費補助金 秋田県立大学が代表研究機関として実施する次の整備に対して補助した。</p> <p>(1)秋田県立大学アグリイノベーション教育研究センターにおける整備 研究・管理棟の整備(設計等)、研究機器等の整備 (2)秋田県農業試験場における整備 研究機器等の整備</p>	米の10aあたりの労働時間削減率(%)	0	2.48	-1.76	-71.0	継続
	<p>①秋田版スマート農業モデル創出事業</p> <p>②秋田版スマート農業モデル創出事業 (ハード)</p>							

No	パッケージ事業名 (事業(予定)期間)	事業概要	KPI	現状値 (申請時)	目標値 (R3)	実績 (R3)	達成率	令和4年度 対応状況
	内訳事業名							
15	DX推進の加速化による地域イノベーション創出事業 (R3～R5)	<p>①・プロジェクト管理、事業化に知見・ノウハウを有する民間事業者と共に創プラットフォームを運営委託し、グループディスカッション等を行う5回のアイデアソン開催を通じて、プロジェクトの創出を図った。 ・共創プラットフォーム上で創出された実証プロジェクト3件を実施した。</p> <p>②デジタル技術の活用事例の講演や活用方法の紹介について、ノウハウを有する民間事業者に運営委託し、5回の出張相談会開催を通じて、デジタル技術導入促進を図った。(申込9件、実施5件、コロナ関連の為中止4件)</p> <p>③県内事業者のデジタル化やデジタル・トランスフォーメーション(DX)を支援するとともに、デジタル化の地産地消を推進するためのポータルサイトを業務委託により構築し、22件のデジタル化事例を掲載した。</p> <p>④県内の中小企業の生産性向上に向けた、ICTツールの導入・活用に必要となる基礎的なICTスキルの向上を図る研修を5回実施し、延べ104人が参加、動画視聴回数は延べ853回であった。</p> <p>⑤高等学校のデジタル関連部活等に対して、デジタル技術導入のサポートを目的として専門家の支援を計35回実施した。</p> <p>⑥高等学校のデジタル関連部活等に対して、デジタル技術導入のサポートを目的としてVRゴーグル等の物品購入支援を計15件実施した。</p>	県内ICT企業における自社商品開発企業数(当事業におけるプロジェクト由来以外も含む)(件)	16	20	14	70.0	継続
	<p>①DX加速化プロジェクト形成事業</p> <p>②シーズニーズマッチングイベント開催事業</p> <p>③DX推進ポータルサイト構築事業</p> <p>④企業内ICT人材育成事業</p> <p>⑤秋田DXクラブ運営事業</p> <p>⑥秋田DXクラブ運営事業(ハード)</p>		創出されたプロジェクト数(件)	0	3	3	100.0	
16	若年女性の県内定着が進む社会づくり推進事業 (R3～R5)	<p>①首都圏在住の県出身者や県内企業等で働く若年女性を対象とした意見交換会(3回、参加者74人)を開催し、職場や職域を越えて交流する場を提供したほか、女性が働きやすい環境づくりに向けた経営者向けセミナー(3地域×1回、参加者141人)を開催した。</p> <p>②平成30年6月に「あきた女性活躍・両立支援センター」を秋田県商工会連合会と連携して設置し、企業における女性活躍や従業員の仕事と子育ての両立支援における取組をワンストップで支援する体制を整備するとともに、女性活躍・両立支援推進員による企業訪問(1,263社)を通じた普及啓発を行ったほか、行動計画策定企業に対して指導・助言するアドバイザーを派遣(114社)した。</p> <p>③令和元年度に選定した、あきた女性活躍チャレンジ企業(4社)が取り組む女性従業員の個性と能力の発揮を目指した新たなプロジェクト事業への支援を実施し、その取組内容をまとめ、県内企業へ横展開を図るための動画を制作したほか、ガイドブック(30,000部)を作成し事例を周知した。</p> <p>④子育て支援団体について、地域の実情に応じた子育て支援活動の促進と地域のネットワークづくり等を図るため、県内3地区(県北・県央・県南)でワークショップとセミナーを各5回実施した。各地区で形成されたネットワークでは実践活動がそれぞれ実施された。ワークショップ等の参加者数は県北地域9名、県央地域20名、県南地域18名。また、報告書を350部作成し事例の普及啓発を図った。</p> <p>⑤若い世代が結婚・出産・子育てに前向きになれる意識の醸成を図るため、子どもを産み育てながら秋田での生活を楽しみ活躍する夫婦・家庭の姿を紹介する動画をYouTubeで配信したほか、知事のメッセージを入れ込んだ家族の良さや温かさを感じられる全面広告を新聞に掲載した。(動画配信3パターン・視聴回数126,612回、新聞広告掲載1回)</p>	支援を通じて県内定着した女性の数(人)	125	150	125	83.3	継続
	<p>①若年女性の秋田暮らしサポート事業</p> <p>②若年女性に魅力ある職場づくり促進事業</p> <p>③女性活躍・定着促進企業応援事業</p> <p>④子育て支援団体の地域ネットワークづくり支援事業</p> <p>⑤多様な子育てスタイル発信事業</p>		支援を通じて「えるぼし」又は「くるみん」の認定を受けた企業数(社)	5	10	3	30.0	
17	体験型コンテンツ販路拡大等による誘客促進事業 (R3～R5)	<p>①ウイズ・アフターコロナを見据え、自然や体験を中心とした県の観光総合パンフレットを制作し、誘客促進に活用した。しかし、首都圏在住者をメインターゲットとした。ポスター掲出等の事業については感染症の状況を加味して一部規模を縮小している。また、台湾で影響力のあるプロガーを通じて本県における少人数ツアーやレンタカー旅行の魅力を発信した。</p>	秋田県の延べ宿泊者数(千人)	3,654	3,664	2,626	71.7	継続
	①誘客プロモーション事業		年間宿泊者数の冬期間(1月～3月)の占める割合(%)	18	19	19	98.9	
			造成・ブラッシュアップした体験型コンテンツのOTAサイトへの登録数(件)	0	10	3	30.0	

No	パッケージ事業名 (事業(予定)期間)	事業概要	KPI	現状値 (申請時)	目標値 (R3)	実績 (R3)	達成率	令和4年度 対応状況
	内訳事業名							
18	秋田の食品産業付加価値向上プロジェクト事業 (R3～R5)	<p>①あきたコメ活プロジェクト推進協議会による研修会や商品発表会を開催した。また、専門家を活用した商品企画・開発検討会は、オンライン中心となったが、優れたコメ加工品の開発につながり、県内外の量販店でのフェアや、首都圏等での展示会出展による商品PRを行った。</p> <p>②事業による研究開発の成果を活用して新商品開発支援を実施した。水稲新品種であるサキホコレを原料にした商品、県オリジナル麴であるあめこうじを活用した商品や家飲み需要に対応したアルコール飲料など新商品が37点発売された。</p> <p>③関係機関との連携により、採択事業者の取組サポートや支援ノウハウ等の共有を図った。また、「支援施策活用事例集」やHPへモデル事例を掲載し、県内発注による取組への意識啓発を図った。</p> <p>④自社の条件に合わせた特注の食品加工機器の導入に係る経費の一部を1件補助し、食品製造事業者の県内発注による食品加工機器整備のモデルとなる取組を支援した。</p>	県産農林水産物を原料とする商品の開発数(点)	0	15	17	113.3	継続
	①時代に対応する新たなコメ加工産業創造事業 ②総合食品研究センター研究推進事業 ③食品機器県内発注モデル支援事業 ④食品機器県内発注モデル支援事業(ハード)		保健機能食品の商品化点数(点)	0	2	2	100.0	
			食品加工機器の県内発注整備モデル取組事例数(件)	0	1	1	100.0	
19	秋田県移住・就業支援事業、秋田県起業支援事業 (R1～R6)	<p>①要件を満たした移住・就業者へ移住支援金を支給した市町に対し補助金を支給した(25件/単身世帯16件、家族世帯9件)。</p> <p>②魅力ある企業の情報を県内外に広く提供し、移住・就業につなげるマッチングサイトを運営したほか、移住支援金対象法人の求人力向上を図るセミナーを実施した(3回)。</p> <p>③社会的事業性を満たす、地域課題の解決に資する事業計画で起業する者に対し、起業に係る経費を支援した。</p>	本移住支援事業に基づく移住就業者数(人)	0	525	39	7.4	継続
	①移住支援金助成事業 ②マッチング支援事業 ③起業支援事業		本移住支援事業に基づく移住起業業者数(人)	0	15	0	0.0	
			本起業支援事業に基づく起業業者数(人)	0	24	20	83.3	
			マッチングサイトに新たに掲載された求人数(件)	0	800	590	73.8	
20	女性の新規就業支援事業 (R1～R6)	<p>①結婚や出産等で離職し、現在積極的な就職活動をしていない女性を対象に、セミナーや会社見学会による求職者の掘り起こしや、就業支援機関への誘導による求職者の拡大を図るとともに、合同就職説明会等で企業とのマッチング支援を行った。</p>	本事業により新規就業が実現した者の数(新規就業者数)(人)	0	210	205	97.6	継続
	①女性の新規就業支援事業							

地方創生関係交付金を活用した事業に係る実施結果について

2 地方創生拠点整備交付金分

No	事業名 (事業期間)	事業概要	KPI	現状値 (申請時)	目標値 (R3)	実績 (R3)	達成率	令和4年度 対応状況
1	秋田県立近代美術館リノベーション事業 (H29)	1. 近代美術館リノベーション事業 ・ハイビジョンギャラリー機能強化(展示パネルの増設) ・ふれんどりーギャラリー機能強化(展示パネル及びピクチャーレールの設置、遮光対策、キッズルームの更新) ・展示室の改修(壁紙クロスの張替) 2. 映像設備機器整備 ・映像設備機器整備(ハイビジョンギャラリー映像機器の更新、防犯カメラの増設) ・展示室の改修(展示室及びガラスケース照明のLED化) 3. 映像データデジタル変換事業(推進交付金分) ・ハイビジョンデータの変換(デジタル化)	秋田県立近代美術館の年間入館者数(人)	92,210	110,210	52,023	47.2	終了
2	秋田県立美術館展示機能強化事業 (H29)	1. 県民ギャラリー改修 ・北側壁工事(ガラス面の遮光及び可動壁の設置) ・レクチャールーム壁工事(ガラス面(ギャラリー側)の壁化及びピクチャーレールの設置) ・ギャラリーホール壁工事(可動壁の設置及びスリットガラスの封鎖(壁化)) ・設備(空調、電気)改修(照明の更新(蛍光灯及びLEDスポットライト増設)) ・結露対策(送風機の設置) 2. 館内導線改修 ・2階ラウンジ等改修(書棚の可動化及び自動ドアの設置)	秋田県立美術館の年間入館者数(人)	124,135	141,135	80,497	57.0	終了
3	県産花きの生産性革命に向けた秋田県花き種苗センター再編整備事業 (H30)	1. 作業舎の整備 ・播種作業や苗冷蔵するための冷蔵室を装備した作業舎を整備(225㎡) 2. 培養室の整備 ・ダリアのウィルスフリー化のための茎頂培養を行う部屋を整備(135㎡)	オリジナル品種の県内供給数量(千本)	73	135	33	24.4	終了
			県内新規就農者数(花き)(人)	16	19	R4年9月に判明	—	
			花きの主要5品目の系統販売額(百万円)	1,863	2,360	1,709	72.4	
4	木材高度加工研究所地域産業支援機能強化事業 (H30)	1. CLT(直交集成材)等の耐久試験を行うために必要な材料加工棟の増築及び資材保管庫の整備 2. 疲労試験機の整備	土木用CLT等の出荷量(㎡)	0.02	82.04	0	0.0	終了
			スギ製品出荷量(千㎡)	614	700.25	608	86.8	

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）について

○令和3年度寄附活用事業の概要

令和3年度は7事業に対して、**16社から755万円**の寄附金を受領。

No	事業名 (事業実施課)	実施状況	寄附企業
1	若年女性の県内定着が進む社会づくり推進事業 (次世代・女性活躍支援課)	高校生、大学生等及び若年社会人を対象とした県内定着の意識や就業環境のニーズ等に関するアンケート調査のほか、県内在住・首都圏在住の県出身の若年女性を対象とした意見交換会・交流会のオンライン開催や企業経営者向けセミナーの開催、商工団体との連携による若年女性のニーズに対応した柔軟な働き方の導入や企業における女性活躍等の実践を促すための指導・助言、女性活躍推進法・次世代法に基づく一般事業主行動計画の策定支援等を実施した。 また、女性の活躍推進や従業員の仕事と育児・家庭との両立支援に取り組む企業の情報や、秋田暮らしを楽しむ女性への取材内容をウェブサイトへ掲載し、秋田で働く魅力を発信した。 このほか、地域の実情に応じた子育て支援活動を民間団体が主体的に推進できる体制構築の支援や結婚・出産・子育ての前向きな意識の醸成につながるよう、ロールモデルとなる夫婦・家族の姿、経験等を多様な媒体により情報を発信した。	・第一生命保険(株)
2	地域を支える「関係人口」創出・拡大事業 (地域づくり推進課)	関係人口を創出するためのオンライン交流会を開催したほか、地域の維持・活性化に向けた活動をしている団体による関係人口を受け入れた現地交流・オンライン交流や都市圏居住の関係人口同士が秋田について語り合うあきたカフェ(オンライン)を実施した。	・あいおいニッセイ同和損害保険(株) ・(株)アルビオン ・(一社)日本中小企業金融サポート機構
3	動物にやさしい秋田PR事業 (生活衛生課)	夏休み期間中にフォトコンテストを開催し、応募総数237点、入賞作品19点の展示を行った。	・DOWAエコシステム(株) ・DOWAエレクトロニクス(株) ・DOWAメタルマイン(株)
4	白神山地保全推進事業 (自然保護課)	白神山地の価値や魅力の情報発信を強化するための「エコツーリズム推進事業」を実施したほか、「あきた白神認定ガイド(県認定ガイド)」を育成するための講習・面接指導や「白神体験塾」(白神山地をフィールドにした自然体験教室)を開催した。	・(株)アイビック ・(株)アルビオン ・オリジナル設計(株) ・ハワード(株)
5	秋田の里地里山を守り継ぐプロジェクト事業 (農山村振興課)	県内におけるプロモーション活動や「里地里山サポーター」の募集、保全活動の支援、耕作放棄防止に向けた新たな農地の借受支援を実施した。	・(株)アルビオン ・NTCコンサルタンツ(株) ・全農畜産サービス(株) ・DOWAエコシステム(株) ・DOWAエレクトロニクス(株) ・DOWAメタルマイン(株) ・古河林業(株)
6	医工連携人材育成事業 (地域産業振興課)	医療福祉関連産業参入セミナー及びヘルスケア産業セミナーをオンラインで開催した。 また、県内大学において、医療・バイオ・ヘルスケア関連企業説明会を開催し、併せて「秋田県医療機器・ヘルスケア関連企業就活ガイドブック」を作成、配布した。	・住友ベークライト(株) ・ニプロ(株)
7	子どもの読書習慣形成推進事業 (生涯学習課)	中学生、高校生ビブリオバトル大会や読み聞かせボランティア養成講座、POP作り研修講座を開催した。	・GRASグループ(株)

公立大学法人秋田県立大学の令和3年度決算による積立金等の 使途計画について

高等教育支援室

1 令和3年度決算後の積立金等の状況

(千円)

区 分	R2決算 までの 積立額 ①	R3 取崩額 ②	差引 ③=①-②	R3決算 による 積立額 ④	計 ③+④
積立金	6,657	-	6,657	3,459	10,116
目的積立金	535,431	80,046	455,385	251,934	707,319
繰越積立金	201,346	188,374	12,972	-	12,972
合 計	743,435	268,420	475,014	255,393	730,407

※1 金額は、千円未満の端数を四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しない。

※2 繰越積立金…第2期中期目標期間(H24~29)から第3期中期目標期間(H30~R5)に繰り越した積立金。

○ 積立金

各事業年度に生じた利益（剰余金）のうち、目的積立金を除いた金額については、損益計算において損失を生じた場合の損失補填に充てるための財源とする。

（地方独立行政法人法第40条第1項）

○ 目的積立金

各事業年度に生じた利益（剰余金）のうち、経営努力により生じた利益として知事が承認した金額については、次年度以降、中期計画で定めた剰余金の使途に充てることできる。（地方独立行政法人法第40条第3項）

○ 繰越積立金

6年間の中期目標期間終了後、各事業年度ごとに生じた目的積立金の残余のうち、知事が承認した金額については、次の中期目標期間における業務の財源に充てることできる。

（地方独立行政法人法第40条第4項）

2 目的積立金の使途計画（案）

法人から提出された積立額（707,319千円）に係る使途計画（案）は、次のとおりである。

		(千円)			
区 分		R 4	R 5	計	覚書第2条との対応
1	焼失牛舎の撤去に係る設計・施工監理【大潟】	3,500	-	3,500	3-(1)
2	焼失牛舎の撤去工事【大潟】	41,342	-	41,342	3-(2)
3	新牛舎の設計・施工監理【大潟】	18,500	-	18,500	3-(2)
4	焼失設備・教育研究機器の更新 11件【大潟】	27,716	-	27,716	3-(1)
5	飼育牛の購入【大潟】	3,500	-	3,500	3-(1)
6	照明制御設備修繕【秋田】	2,200	-	2,200	3-(1)
7	管理棟等ネットワーク設備整備【秋田】	1,000	-	1,000	3-(1)
8	大学院棟各室照明設備改修【秋田】	8,170	9,504	17,674	3-(1)
9	中央監視装置修繕【秋田】	3,800	4,500	8,300	3-(1)
10	除雪用車両更新【秋田】	-	4,950	4,950	3-(1)
11	空調設備のメンテナンス改修【秋田】	-	9,900	9,900	3-(1)
12	自家発電バッテリー交換修繕【秋田】	-	1,881	1,881	3-(1)
13	特別実験棟排水処理設備修繕【秋田】	-	1,600	1,600	3-(1)
14	火災報知設備部分改修・消火器更新【秋田】	-	4,700	4,700	3-(1)
15	屋外灯改修【本荘】	9,977	-	9,977	3-(1)
16	学部棟Ⅱ6階手摺嵩上げ工事【本荘】	4,912	-	4,912	3-(1)
17	学部棟Ⅰ・Ⅱ・大学院棟水道管改修工事【本荘】	1,760	-	1,760	3-(1)
18	大学院北側風除室ドア修繕【本荘】	682	-	682	3-(1)
19	乗用草刈機更新【本荘】	836	-	836	3-(1)
20	作物作業舎改修【大潟】	7,519	-	7,519	3-(1)
21	A I C新管理棟外構工事【大潟】	9,587	-	9,587	3-(2)
22	A I C新管理棟浄化槽設置工事【大潟】	9,733	-	9,733	3-(2)
23	学生寮空調機等の総点検・整備・煙感知器交換【大潟】	3,135	-	3,135	3-(1)
24	学生寮スチームコンパクションオープン更新【大潟】	2,398	-	2,398	3-(1)
25	授業用教室照明設備改修【大潟】	847	-	847	3-(1)
26	A I C水田圃場小用水路等改修工事【大潟】	8,921	-	8,921	3-(1)
27	A I C水田圃場暗渠排水工事【大潟】	5,450	-	5,450	3-(1)
28	A I C果樹園・園芸実習室設備改修【大潟】	5,464	5,338	10,802	3-(1)
29	公用車2台更新【大潟】	-	3,500	3,500	3-(1)
30	腐朽菌処理室ファンコイルユニット更新【木高研】	1,243	-	1,243	3-(1)
31	試験棟南側外壁・渡り廊下改修【木高研】	-	6,200	6,200	3-(1)
32	コンピュータ室改修【秋田・本荘】	9,902	-	9,902	3-(1)
33	コンピュータ室P C・印刷システム更新【秋田・本荘】	8,205	-	8,205	3-(1)
34	L E D照明灯蓄電池交換【秋田・本荘・大潟】	1,300	-	1,300	3-(1)
35	教育研究機器更新 11件	61,052	-	61,052	3-(1)
36	災害時等対応準備金	50,000	50,000	100,000	2
合 計		312,651	102,073	414,724	

※ 1～5については、秋田県立大学アグリイノベーション教育研究センター牛舎の再整備にかかるものであり、令和4年第1回定例会2月議会において説明済。

※ 目的積立金707,319千円から、上記計画額を差し引いた292,595千円については、施設設備等の改修や教育研究機器の更新等に充当する予定であり、使途計画は次年度以降に提示する。

3 繰越積立金の使途計画（案）

法人から提出された積立額（12,972千円）に係る使途計画（案）は、次のとおりである。

(千円)

区 分		R 4	R 5	計
1	学長特別研究プロジェクト（R 2年度採択分）	6,100	-	6,100
合 計		6,100	-	6,100

※ 繰越積立金 12,972千円から、上記計画額を差し引いた 6,872千円については、教育研究機器の更新等に充当する予定であり、使途計画は次年度以降に提示する。

4 令和3年度に作成した目的積立金の使途計画に対する実績

(千円)

区 分		計画額	実績額
1	学部棟Ⅱ照明設備改修【秋田】	9,993	9,680
2	特別実験棟γ線エリアモニタ更新【秋田】	5,379	5,379
3	防犯カメラ設備改修【秋田】	5,720	3,793
4	大学院棟等洗面器自動水栓改修【秋田】	9,680	9,249
5	管理棟トイレ設備改修【秋田】	9,900	9,790
6	特別実験棟消火設備改修【本荘】	9,198	9,130
7	Yストレーナ改修【本荘】	1,012	880
8	学部棟Ⅰ・Ⅱ洗面器自動水栓改修【本荘】	6,670	6,517
9	共通施設棟等洗面器自動水栓改修【本荘】	5,970	5,830
10	大学院棟等洗面器自動水栓改修【本荘】	5,610	5,473
11	学部棟Ⅰ6階手摺嵩上げ改修【本荘】	4,679	4,678
12	エレベーター照明設備改修【本荘】	1,148	770
13	図書館内空気循環設備改修【本荘】	5,101	5,005
14	体育施設棟1階ガラス戸改修【本荘】	1,430	1,232
15	地上デジタル波受信設備改修【本荘】	2,645	2,640
合 計		84,135	80,046

5 令和3年度に作成した繰越積立金の使途計画に対する実績

(千円)

区 分		計画額	実績額
1	中講義室雨漏れ屋根改修【大潟】	1,527	1,518
2	学生寮浴室改修【大潟】	2,178	2,178
3	学生運搬用バスドライブレコーダー取付工事【大潟】	1,014	1,013
4	小用水路（6区3号、4号）改修【大潟】	8,206	8,327
5	水田圃場（7区11号、12号）暗渠改修【大潟】	5,450	4,848
6	温室ボイラータンク・配管等改修【大潟】	9,196	8,690
7	学生寮真空遮断器改修【大潟】	2,618	2,618
8	学生玄関ドア改修【大潟】	780	780
9	気中開閉器更新【大潟】	1,705	1,705
10	本館洗面器自動水栓改修【大潟】	2,178	2,178
11	南棟・北棟出入口ドア更新【木高研】	2,617	2,616
12	電子顕微鏡室空調設備更新【木高研】	671	671
13	自動制御設備センター装置等更新【木高研】	2,123	2,123
14	空調設備更新【木高研】	1,804	1,804
15	本館3階会議室照明設備改修【木高研】	1,096	1,096
16	研究棟3階ラウンジ木製建具改修【木高研】	1,601	1,045
17	教育研究機器更新 23件	118,719	115,983
18	学長特別研究プロジェクト（R元年度採択分）	21,900	21,730
19	学長特別研究プロジェクト（R2年度採択分）	11,500	7,451
合 計		196,883	188,374

公立大学法人国際教養大学の令和3年度決算による積立金等の 使途計画について

高等教育支援室

1 令和3年度決算後の積立金等の状況

(千円)

区 分	R2決算 までの 積立額 ①	R3 取崩額 ②	差引 ③=①-②	R3決算 による 積立額 ④	合計 ③+④
積立金	8,646	-	8,646	1,007	9,653
繰越積立金	312,720	100,670	212,050	97,319	309,369
合 計	321,366	100,670	220,696	98,326	319,022

※1 金額は、千円未満の端数を四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しない。

※2 繰越積立金…第3期中期目標期間(H28～R3)から第4期中期目標期間(R4～R9)に繰り越した積立金。

○ 積立金

各事業年度に生じた利益（剰余金）のうち、目的積立金を除いた金額については、損益計算において損失を生じた場合の損失補填に充てるための財源とする。

（地方独立行政法人法第40条第1項）

なお、第3期中期目標期間終了後の残余9,653千円は県に納付済。

○ 繰越積立金

6年間の中期目標期間終了後、各事業年度ごとに生じた目的積立金の残余のうち、知事が承認した金額については、次の中期目標期間における業務の財源に充てることことができる。

（地方独立行政法人法第40条第4項）

なお、第3期中期目標期間終了後の目的積立金の残余309,369千円は、知事が承認の上、第4期中期目標期間に繰越。

2 令和4年度における繰越積立金の使途計画（案）

法人から提出された積立額（309,369千円）に係る使途計画（案）は、次のとおりである。

(千円)

区 分		R 4	R 5	計
1	防災備品更新（AED消耗品等）	749	750	1,499
2	教室等映像音響設備更新（講堂プロジェクタ等）	4,940	990	5,930
3	建物外壁・屋根等改修（図書館、講義棟、渡り廊下等）	10,990	-	10,990
4	講義棟等備品更新（コベルコホール椅子更新等）	5,810	3,100	8,910
5	講義棟等設備改修（廊下センサーライト、自動ドア等）	18,334	9,900	28,234
6	学生会館設備改修（カレッジカフェ床、網戸設置等）	400	4,700	5,100
7	広場・通路等屋外設備改修（樹木剪定、屋外テーブル・椅子等）	5,000	2,500	7,500
8	学生寮除雪機更新等	1,000	8,600	9,600
9	駐車場改修	6,700	-	6,700
10	サーバ・システム更新（図書閲覧システム、PC管理・ファイル共有サーバ等）	36,500	18,879	55,379
11	ネットワーク機器更新（総合管理システム、監視カメラ等）	10,050	2,100	12,150
12	学生宿舎等備品更新（机、テーブル等）	22,860	-	22,860
13	学生宿舎設備改修（水道メーター等）	6,150	2,000	8,150
14	財政調整積立金	60,000	60,000	120,000
合 計		189,483	113,519	303,002

※ 繰越積立金 309,369千円から、上記計画額を差し引いた 6,367千円については、R6年度以降、設備改修等を中心に充当する予定。なお、R6年度の使途計画案は、次年度に提示。

3 令和3年度に作成した目的積立金の使途計画に対する実績

(千円)

区 分		計画額	実績額
1	防災備品更新 (AED、防火器具等)	380	359
2	防災設備改修 (校内放送設備)	2,000	2,000
3	建物外壁・屋根等改修 (図書館、学生会館、講義棟、渡り廊下等)	23,150	9,977
4	講義棟等備品更新 (研究室ブラインド、会議テーブル、椅子等)	10,990	10,281
5	講義棟等設備改修 (廊下センサーライト、図書館空調設備、自動ドア等)	23,270	19,255
6	学生会館設備改修 (カレッジカフェ床、椅子等)	6,150	2,142
7	広場・通路等屋外設備改修 (樹木剪定、屋外テーブル・椅子、屋外照明)	6,100	1,766
8	学生寮除雪機更新	1,300	1,283
9	サーバ・システム更新 (図書閲覧システム、財務システム等)	38,075	21,720
10	ネットワーク機器更新 (総合管理システム、構内ネットワーク)	17,731	8,966
11	学生宿舎等備品更新 (タンス、冷蔵庫等)	20,128	14,905
12	学生宿舎設備改修 (台所設備、水道メーター等)	10,940	8,016
13	財政調整積立金	60,000	-
合 計		220,214	100,670

※ R4年度以降の新型コロナウイルス感染症対策等の資金需要に対応するため、目的積立金の執行の一部を見送った。

※ 財政調整積立金は、災害の応急対策等に対応するための財源として設定。R3年度の支出なし。

4 令和3年度に作成した繰越積立金の使途計画に対する実績

(千円)

区 分		計画額	実績額
1	学生宿舎設備改修 (電気・空調設備等)	4,500	4,500
2	学生宿舎等備品更新 (生活家電、家具)	2,450	2,450
3	新学生宿舎備品整備 (生活家電、家具)	9,097	9,097
4	新学生宿舎ネットワーク整備	9,730	9,730
合 計		25,777	25,777

剰余金の使途の取扱いに関する覚書（抜粋）

平成24年3月1日 覚書締結

（趣旨）

第1条 地方独立行政法人法第40条第3項の規定による目的積立金は、地方独立行政法人の経営上のインセンティブを働かせる趣旨から、地方独立行政法人の自主的判断により、中期計画に定める使途に充てるものとされている。

しかしながら、公立大学法人（以下「法人」という。）の中期計画においては、「教育研究の質の向上、組織運営及び施設設備の改善を図るための経費」に充てるとされているものの、具体的にどのような経費に剰余金を充てることができるのか、明らかとはいえない。

このため、剰余金を充てることのできる経費を明らかにすること等により、法人の経営全般について説明責任を果たしていく。

（中期計画に定める剰余金の使途の取扱い）

第2条 中期計画に定める「教育研究の質の向上、組織運営及び施設設備の改善を図るための経費」については、それぞれ次のとおりとする。

1 教育研究の質の向上に要する経費

- (1) 臨時的に実施される国際的なシンポジウムの開催や年度を超える特別な教育研究プロジェクトの実施等の教育研究の質の向上に係る事業で、運営費交付金で措置されていないものの実施に要する経費
- (2) 教育研究機能の整備等の教育研究の質の向上に係る事業で、県から政策的に財政支援を受けるものについて、県の支援額の縮減に充てる経費

2 組織運営の改善に要する経費

- (1) 翌年度以降における財政の健全な運営に資するために積み立てる経費
- (2) 災害の応急対策その他特別の事案に対応するための経費

3 施設設備の改善に要する経費

- (1) 公立大学法人運営費交付金の算定ルール（以下「算定ルール」という。）において法人が実施することとされている設備・機器の更新及び建物の修繕に要する経費
- (2) 中期計画に定める施設設備等の整備その他算定ルールにおいて法人が県の補助金によって実施することとされている事業で、緊急の必要性が生じたものの実施に要する経費

（使途計画の取扱い）

第3条 法人は、6月末の決算確定時に、目的積立金の使途計画を策定し、県に提出するものとする。

県は、提出を受けた使途計画について、議会の意見を踏まえて法人と内容を協議し、法人は、適切に対応するものとする。